

# 参加者の皆様へ①

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、松戸市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。

# 参加者の皆様へ②

- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただければ、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。
- ✓ 参加者による動画の撮影、録音はご遠慮ください。

# 傍聴者の皆様へ①

- ✓ 開会前、会議中、閉会後に関わらず、予め定められたエリアでの傍聴をお願いします。
- ✓ 会議中は、発言、私語、拍手等の意思表示を伴う行為は行わないようにお願いします。

# 傍聴者の皆様へ②

- ✓ 記録や取材のための撮影に、傍聴者も写り込んでしまう場合があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。
- ✓ 傍聴者による撮影や録音は、報道・記録など主催者の許可がある場合以外にご遠慮ください。

# 会場の皆様全員へ

- ✓ 地震、火事等の災害時には、会場のアナウンスやスタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。

# 松戸市環境未来会議2024

## 第5回 ゼロカーボンへの転換方法を検討する

2024年9月8日（日）

13:00～17:00 アートスポットまつど



開 会

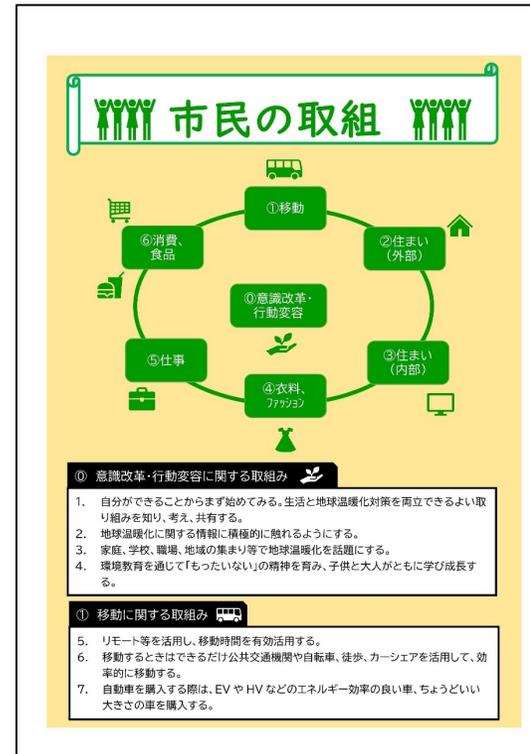
## 【会議のゴール】

✓ 「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた市民、事業者、行政の取り組みをまとめます。

## 【成果の活用方法】

✓ 取り組みの内容を精査したうえで、「市民行動プラン」や「地球温暖化対策実行計画」に反映していきます。

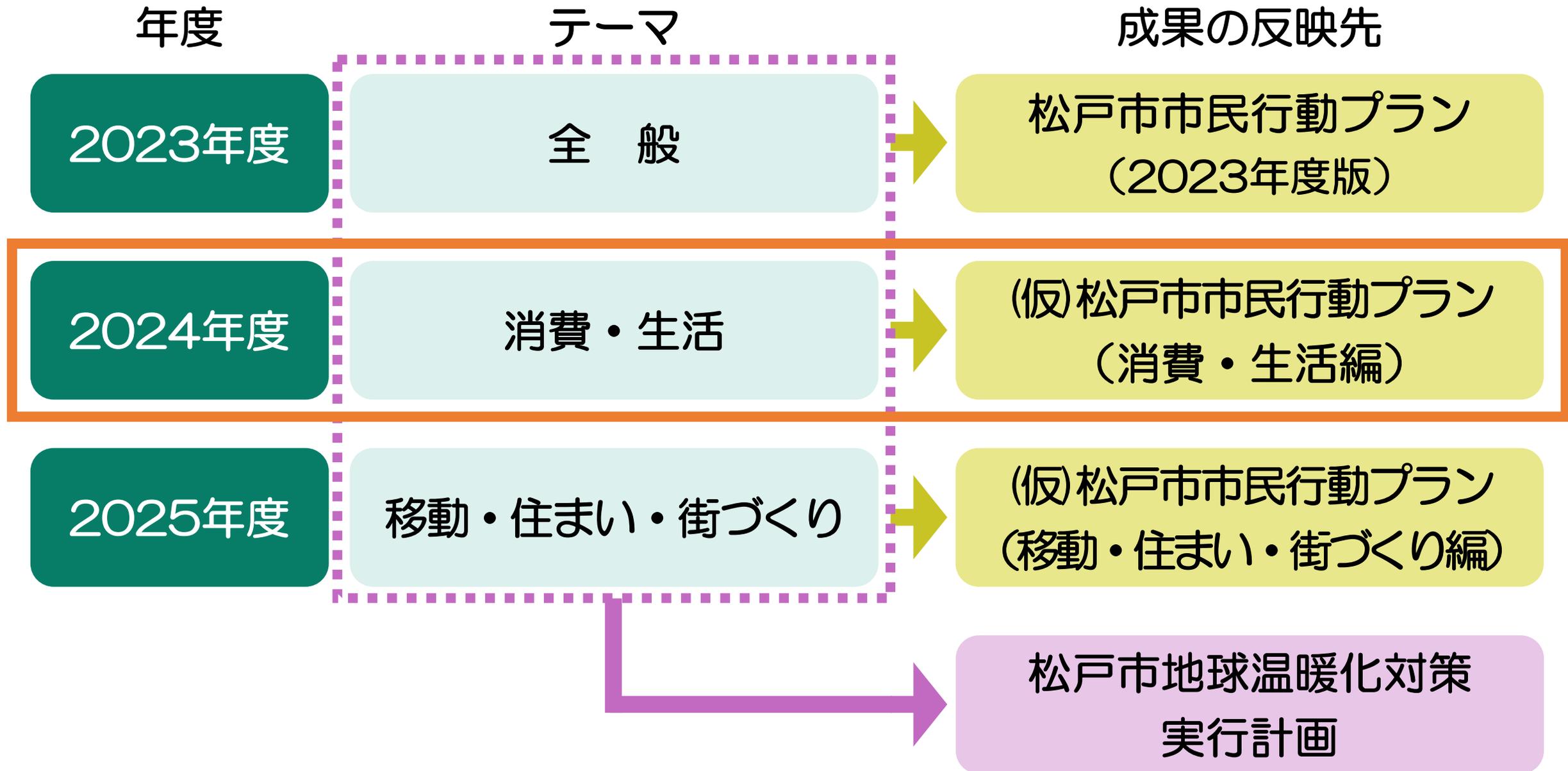
松戸市市民行動プラン

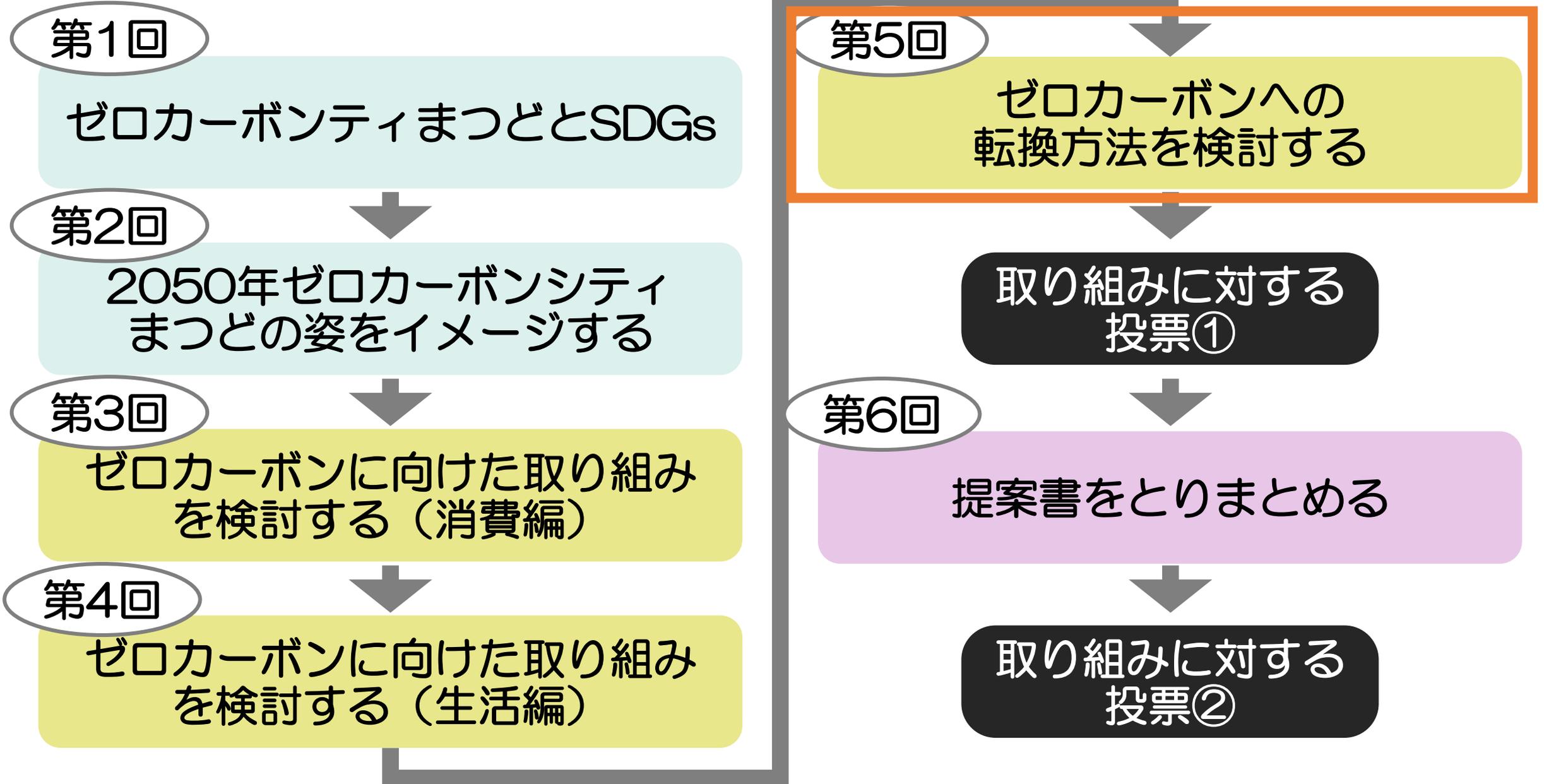


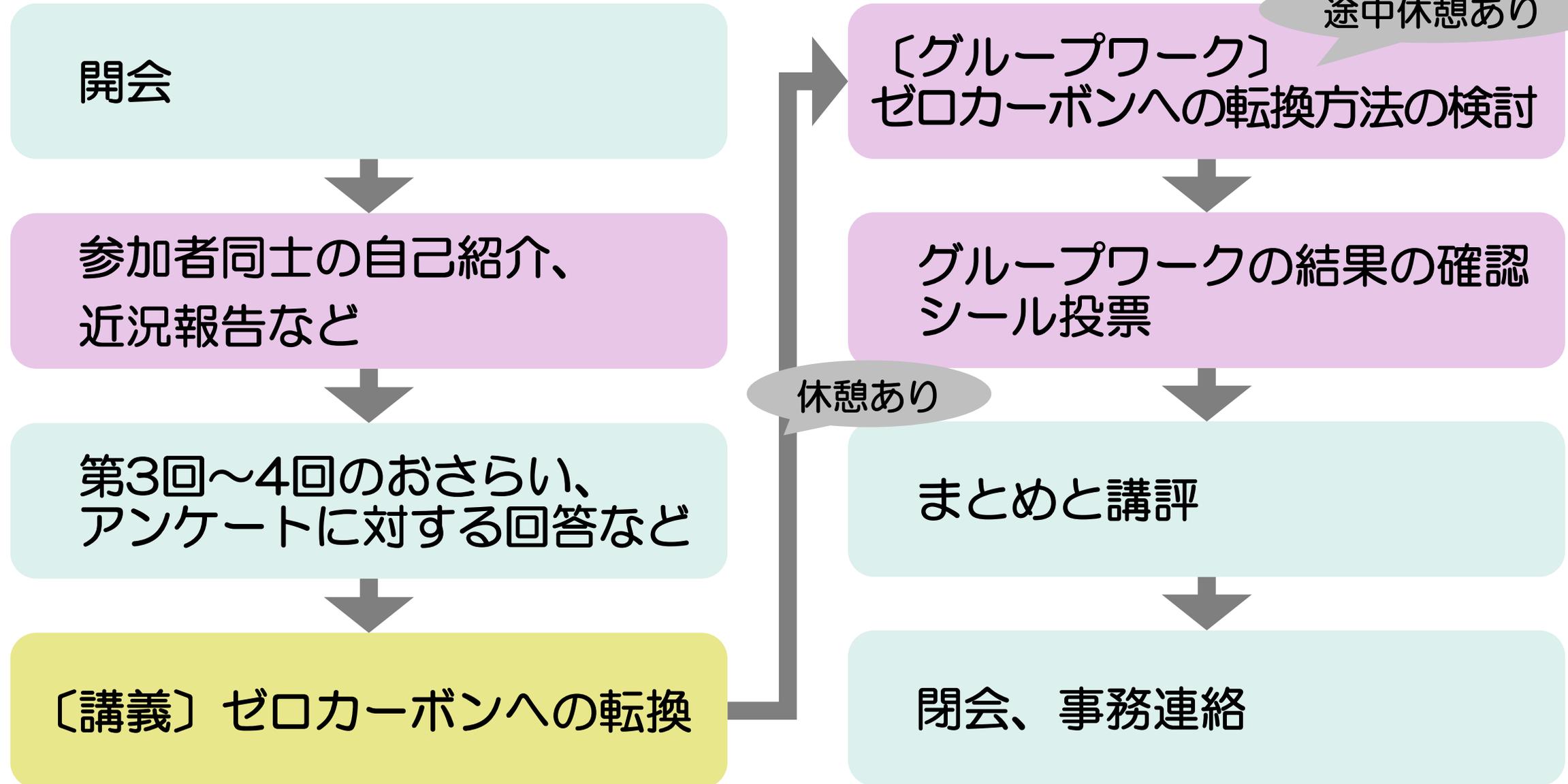
松戸市地球温暖化対策実行計画



# 2024年度の位置づけ







参加者同士の自己紹介  
近況報告など

## これまでに挙げた取り組みを市民に浸透させるためのアイデアを考えてみる

- ✓ 第3回、第4回で様々な取り組みを挙げて頂きました。
- ✓ ゼロカーボンを実現するうえで欠かせない取り組みが挙がってきたと思います。
- ✓ 街全体でゼロカーボンを実現するためには、皆さんに挙げていただいた取り組みを市民に広く浸透させていく必要があります。

## 【お話頂く内容】

- ✓呼ばれたいお名前
- ✓会議に参加して変わったこと
- ✓取り組みを市民に浸透させるためのアイデア

など

## 【順番・時間】

- ✓ファシリテーターから順に時計回り
- ✓1人1分程度

終了時刻  
13:25

第3回～4回のおさらい、  
アンケートに対する回答など

# 第3回～4回のおさらい（ゼロカーボンに向けた取り組み（消費・生活））

## 【製品に関する取り組み】

1. 持続可能な製品を普及させる
2. 生産と消費の量を減らす
3. プラスチックの使用を減らす
4. リユース、リサイクルを進める

## 【食に関する取り組み】

5. 持続可能な食を普及させる
6. 食品ロスを減らす
7. 持続可能な食品の廃棄方法、リサイクルを進める

## 【住宅に関する取り組み】

8. 住宅の省エネ性能をあげる
9. 省エネ性能の高い家電・機器を普及させる
10. 住宅で消費するエネルギーを脱炭素化する
11. 住宅内での環境に配慮した過ごし方を普及させる

## 【事業所や店舗、公共施設などに関する取り組み】

12. 環境に配慮した事業所や店舗、公共施設を普及させる
13. 環境に配慮した仕事方法を普及させる
14. 環境に配慮した学校ルールを普及させる

## 【移動に関する取り組み】

15. 移動距離を減らす
16. 環境に配慮した移動方法を普及させる
17. 電気自動車等を普及させる
18. カーシェアリングを普及させる
19. 環境に配慮した運送を普及させる

## 【余暇に関する取り組み】

20. 地元での余暇を普及させる
21. 環境に配慮した旅行を普及させる

## 【ゼロカーボンに向けた普及啓発や仕組みづくり】

22. 持続可能性について学ぶ、話し合う、発信する
23. ゼロカーボンに向けた仕組みをつくる

## 【ゼロカーボンに向けた街づくり】

24. 環境に配慮した街づくりを進める

※取り組みの詳細は、配付資料2参照

## 【意見・質問の概要】

- ✓ 東日本大震災の際、オール電化の住宅に住んでいて苦労した人がいた記憶がある。災害の多い日本でオール電化にして本当に良いのかどうか、今の段階での見解を知りたい。

## 【回答】※第4回講師（金森氏）より〔詳細は配付資料3参照〕

- ✓ ご指摘のケースは、震災により電気は供給されないが、ガスか灯油は使えた地域のケースとと思います。オール電化住宅が悪なのではなく、災害時に対する備えが十分でなかったことが問題かもしれません。
- ✓ オール電化住宅に、太陽光発電と蓄電池を設置している場合、太陽光発電が被害を受けなければ、災害時に電気が供給されない場合でも、自宅では昼間は電気を使用できますし、夜間もある程度は蓄電池の電気を使用できるというケースもあろうかと思えます。

## 【意見・質問の概要】

✓ オール電化にしても発電時にCO<sub>2</sub>が発生するため、自然エネルギーなどCO<sub>2</sub>が発生しない発電方法へのシフトが必要だと思う。

## 【回答】 ※第4回講師（金森氏）より〔詳細は配付資料3参照〕

- ✓ ご指摘の通りです。第4回の解説の際に4つのポイントを示しましたが、すべて同時に進めることが求められます。
- ✓ 国としても自然エネルギーの大量導入を進め、CO<sub>2</sub>の排出が減るような発電方法への切り替えをエネルギー計画で定めています。

### ■4つのポイント

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ①エネルギー需要削減（省エネ） | ③燃料を電気に変える（電化） |
| ②機器の根ルギー効率改善    | ④エネルギーの脱炭素化    |

# 質疑応答（5分程度）

〔講義〕

ゼロカーボンへの転換

# スライド切り替え

# 休憩（14:15まで）

※お菓子をお配りします。  
ご自由にお召し上がりながらご歓談ください。

# 感想と質問の共有

## 【感想】

- ✓ 講師のお話に対する感想

など

## 【質問】

- ✓ 講師に対して質問したいこと

など



- ✓ 後ほど、講師に質問できます。  
(本人又はファシリテーターから口頭で質問)

終了時刻  
14:30

# 質問の発表・質問に対する回答 (15分程度)

# 〔グループワーク〕 ゼロカーボンへの転換方法の検討

# スライド切り替え

## 【製品に関する取り組み】

1. 持続可能な製品を普及させる
2. 生産と消費の量を減らす
3. プラスチックの使用を減らす
4. リユース、リサイクルを進める

## ①消費 (食以外)

## 【食に関する取り組み】

5. 持続可能な食を普及させる
6. 食品ロスを減らす
7. 持続可能な食品の廃棄方法、リサイクルを進める

## ②食

## 【住宅に関する取り組み】

8. 住宅の省エネ性能をあげる
9. 省エネ性能の高い家電・機器を普及させる
10. 住宅で消費するエネルギーを脱炭素化する
11. 住宅内での環境に配慮した過ごし方を普及させる

## ③住まいと建物

## 【事業所や店舗、公共施設などに関する取り組み】

12. 環境に配慮した事業所や店舗、公共施設を普及させる
13. 環境に配慮した仕事方法を普及させる
14. 環境に配慮した学校ルールを普及させる

## 【移動に関する取り組み】

15. 移動距離を減らす
16. 環境に配慮した移動方法を普及させる
17. 電気自動車等を普及させる
18. カーシェアリングを普及させる
19. 環境に配慮した運送を普及させる

## ④移動と余暇

## 【余暇に関する取り組み】

20. 地元での余暇を普及させる
21. 環境に配慮した旅行を普及させる

## 対象外

## 【ゼロカーボンに向けた普及啓発や仕組みづくり】

22. 持続可能性について学ぶ、話し合う、発信する
23. ゼロカーボンに向けた仕組みをつくる

## 【ゼロカーボンに向けた街づくり】

24. 環境に配慮した街づくりを進める

※取り組みの詳細は、配付資料2参照

## 【まずは個人で】

- ①-1 脱炭素社会の「システム」の要素を考える
- ①-2 化石燃料社会の「システム」の要素を考える
- ①-3 脱炭素社会へとつながる「実践」を考える

## ②考えたら、その内容をいせんに書く

✓1枚にひとつずつ書く

✓伝えたいことが分かるように書く

(例：「●●が▲▲になっている」 「●●を▲▲する」)

## 【次はグループで】

### ③ふせんに書いた内容を貼りながら皆さんにお話する

- ✓ 1人ずつ順番に
- ✓ 最初は1人1分半程度を目安に
- ✓ 似たような「システム」の要素や「実践」が出てきたら近くに貼る

### ④自由に意見交換する

- ✓ いろいろな人の意見を聞きながら、「システム」の要素や「実践」を膨らませていく
- ✓ 追加したいものがでてきたらふせんに書いて貼る

- ✓ 対話はキャッチボール。  
短く話そう、よく聴こう！
- ✓ 途中で遮らない。最後まで聴こう！
- ✓ 違って当然。違いこそ可能性！
- ✓ 寄り道もOK！  
でも、何の話し合いが忘れずに。



- 1 脱炭素社会の「システム」（未来のあたりまえ、ルール、インフラストラクチャなど）の要素を考える ⇒右上 } 40分
- 2 化石燃料社会の「システム」の要素を考える ⇒左上 }
- 〔休憩〕 } 10分
- 3 脱炭素社会へとつながる「実践」を考える ⇒左下 } 45分

終了時刻 16:25

グループワークの結果の確認、  
シール投票

## 【準備する】

- ①模造紙を見やすいように置く
- ②1人につき14枚シールを持つ

## 【他のグループを回る】

### ③隣のグループに移動して模造紙を眺める

- ✓消費（食以外）-1 ⇒ 消費（食以外）-2 ⇒ 食-1 ⇒ 食-2 ⇒ 住まいと建物-1 ⇒ 住まいと建物-2 ⇒ 余暇と移動-1 ⇒ 余暇と移動-2の方向に
- ✓1グループにつき1分40秒を目安に（合図します）

### ④気に入ったところにシールを貼る

- ✓1グループにつき1人2枚まで

# まとめと講評

# 提案書のとりまとめの流れ

## 会議の流れ

### 第2回

2050年ゼロカーボンシティ  
まつどの姿をイメージする

### 第3回

ゼロカーボンに向けた取り組み  
を検討する（消費編）

### 第4回

ゼロカーボンに向けた取り組み  
を検討する（生活編）

### 第5回

ゼロカーボンへの  
転換方法を検討する

## 提案書の構成(仮)

### 第1章

(仮) 2050年ゼロカーボンシティ  
まつどの姿

### 第2章

(仮) ゼロカーボンに向けた  
消費・生活に関する取り組み

### 第3章

(仮) ゼロカーボンへの  
転換を進めるための活動

# 提案書 第1章 (仮) 2050年ゼロカーボンシティまつどの姿

1. エネルギー消費が少なく災害にも強い住宅が普及している街
2. 脱炭素エネルギーを自給している街
3. 物や場所をシェアする文化が定着している街
4. 3R（リデュース、リユース、リサイクル）が進んでいる街
5. 食の自給率が高く、安全な食品が手に入る街
6. 食品ロスが少なく、食品廃棄物を循環させて再利用している街
7. みどりが多く、自然が豊かな街
8. コンパクトで生活しやすい街
9. 少ないエネルギー消費で移動できる街
10. 誰もが暮らしやすい街
11. 松戸市ならではの魅力を発信している街
12. 環境への配慮が当たり前になっている街
13. 環境教育が充実し、みんなが環境問題について話し合うことができる街
14. 外部と協力・連携して環境問題に取り組んでいる街
15. 技術開発が進み、企業や大学と連携して環境問題に取り組んでいる街

# 提案書 第2章 (仮)ゼロカーボンに向けた消費・生活に関する取り組み

## 【製品に関する取り組み】

1. 持続可能な製品を普及させる
2. 生産と消費の量を減らす
3. プラスチックの使用を減らす
4. リユース、リサイクルを進める

## 【食に関する取り組み】

5. 持続可能な食を普及させる
6. 食品ロスを減らす
7. 持続可能な食品の廃棄方法、リサイクルを進める

## 【住宅に関する取り組み】

8. 住宅の省エネ性能をあげる
9. 省エネ性能の高い家電・機器を普及させる
10. 住宅で消費するエネルギーを脱炭素化する
11. 住宅内での環境に配慮した過ごし方を普及させる

## 【事業所や店舗、公共施設などに関する取り組み】

12. 環境に配慮した事業所や店舗、公共施設を普及させる
13. 環境に配慮した仕事方法を普及させる
14. 環境に配慮した学校ルールを普及させる

## 【移動に関する取り組み】

15. 移動距離を減らす
16. 環境に配慮した移動方法を普及させる
17. 電気自動車等を普及させる
18. カーシェアリングを普及させる
19. 環境に配慮した運送を普及させる

## 【余暇に関する取り組み】

20. 地元での余暇を普及させる
21. 環境に配慮した旅行を普及させる

## 【ゼロカーボンに向けた普及啓発や仕組みづくり】

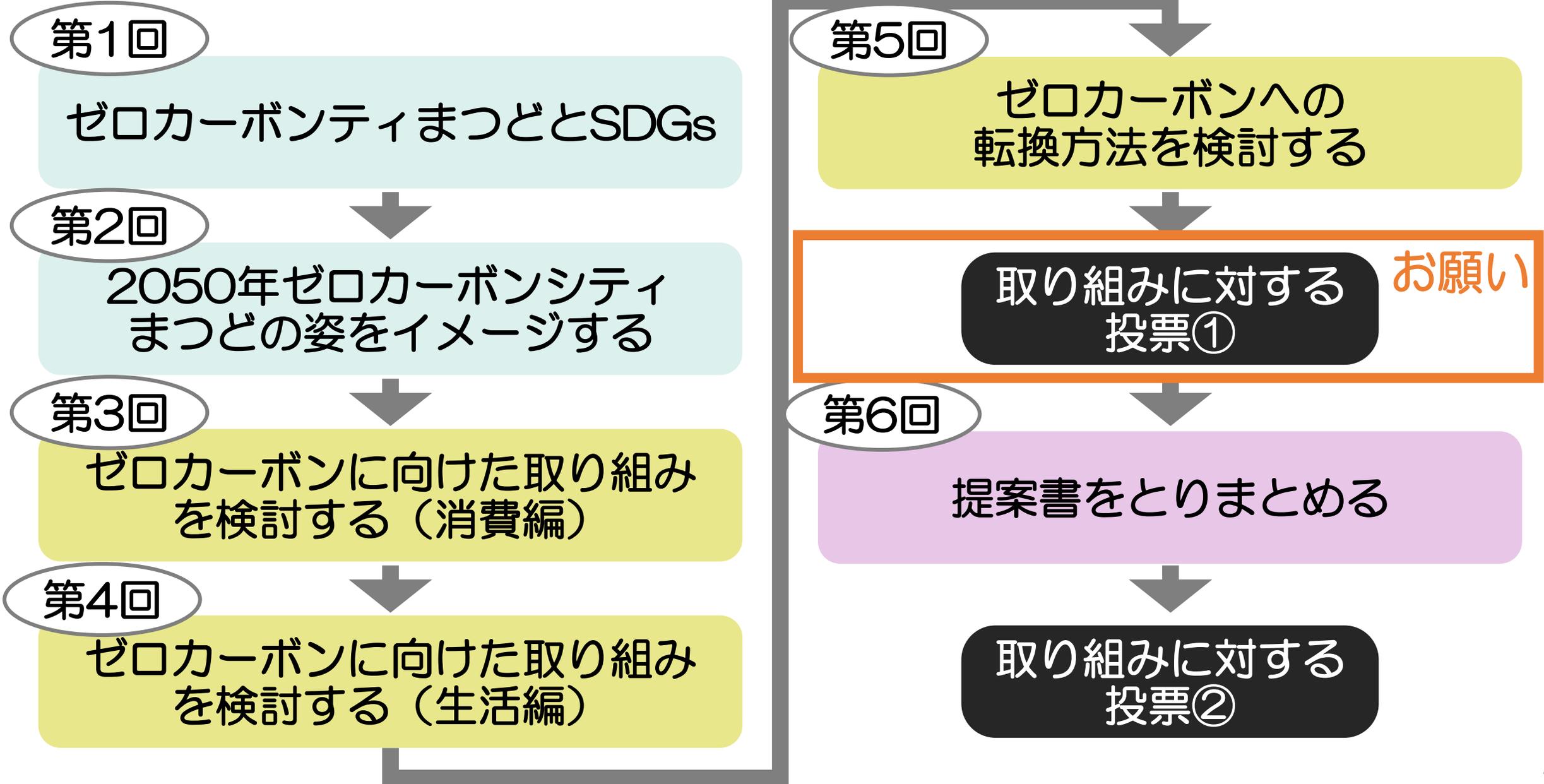
22. 持続可能性について学ぶ、話し合う、発信する
23. ゼロカーボンに向けた仕組みをつくる

## 【ゼロカーボンに向けた街づくり】

24. 環境に配慮した街づくりを進める

※取り組みの詳細は、配付資料2参照

本日（第5回）のグループワークの結果をもとに作成



第5回会議（提案書を取りまとめる）に向けて、これまで挙げられた取り組みのなかで修正が必要なものを把握するための投票を行います。

【選択肢（例）】 ※詳細は検討中

① 提案書に残す

② 判断がつかない

③ 提案書に残すには修正が必要

(A) 逆にCO<sub>2</sub>排出量が増える可能性がある

(B) 暮らしに対する制限が大きすぎる、不公平や格差が生じるなど

# 閉会、事務連絡

## 第5回テーマ 提案書を取りまとめる

### 【日時】

2024年10月20日（日）

13:00～17:00（12:40受付開始）

### 【場所】

キテミテマツド9階 アートスポットまつど

（住所：松戸市松戸1307の1）

本日と同じ

## ゼロカーボンへの転換を進めるための活動を考える (特に、市民として来年度重点的に進めるべき活動)

- ✓ 本日（第5回）、ゼロカーボンへの転換を進めるための活動がいくつか挙がってきたと思います。
- ✓ ただ、おそらく市民として進めるべき活動は、なかなか思いつかなかったのではないかと思います。
- ✓ 後日、グループワークの結果を共有しますので、他のグループの結果も見ながら、市民として来年度重点的に進めるべき活動を考えてみていただきたいです。
- ✓ 投票にもご協力をお願いします。

- ✓ アンケートにご協力をお願いします。  
（スマートフォン利用の場合の回答期限：9月11日）
- ✓ 名札は外してテーブルに置いたままをお願いします。
- ✓ この場で報酬をお渡しします。  
おかけになったままお待ちください。  
受領証への記入をお願いします。
- ✓ この会場は、18:00までご利用いただけます。  
参加者同士の交流の場としてご利用ください。